

広報広聴委員会行政視察報告

- 【日 時】 平成29年8月8日（火）～9日（水）
【視 察 先】 群馬県前橋市、東京都羽村市
【視察委員】 多田 晃委員長、鈴木岳幸副委員長、遠藤久仁雄委員、山根 一委員、
山本信行委員、石井通春委員、杉山猛志委員

平成29年8月8日（火）

視察先：群馬県前橋市

【調査事項】 市政発信課「広報広聴戦略プラン」について

【調査内容】前橋市は、政策部市政発信課が作成した「前橋市広報広聴戦略プラン」に基づき、伝える広報から伝わる広報へ、職員一人一人が広報広聴パーソンになる取組みなどを調査した。

【◆調査内容に対する評価】

- ・全職員が広報広聴パーソンである自覚を持たせ、研修等を用いたスキルアップも図っている。
- ・このくらいは当然知っているだろうという思い込みは捨てる。文字数を減らす。
- ・アンケート実施により90%の市民が広報から市政情報を得ているとの事（ネットよりはるかに多い）
- ・市民目線の広報で市民にとって分かり易いもので（写真・イラスト・動画の活用など）、時代やニーズにあった広報



【◆本市に反映できると思われる点】

- ・前橋市の広報誌は写真や色使いなど編集の技法が優れている。写真を見ただけで読みたいたいと思わせるように工夫されている。まさに視覚に訴えることが広報の使命であると感じた。私たちの議会だよりも更に研究の余地があるものと感じた。
- ・藤枝市の市議会だよりも203号から用語の解説（ひとこと解説コーナー）を始めたが、もっと市民目線で見た議会だよりにしていく必要がある。
- ・藤枝市議会では現在「ホームページ」と「議会だより」だけだが、SNS等、特性を生かした情報発信をしていく時期にあると思う。
- ・「すべての情報を均一的に広報」するのではなく、「テーマを絞り、重点的に広報」している。そのテーマとなる写真をトップページに使い、2ページ以降にその関連記事が続いていく。

【◆感想・意見】

- ・今回は、議会の広報広聴ではなく、執行部側の広報広聴活動の視察をさせていただいたが、このように議会の内容だけでなく、違った立場の方の視点から学ぶことも意義深いものであると改めて感じさせられた。
- ・行政側の広報を研修させていただいたが、情報発信という観点から、議会も全く同じで

あると感じた。市民にとって、なかなかわかりにくい議会をどのような手法で、いかに分かりやすく伝えるか？が、大変重要であると感じた。

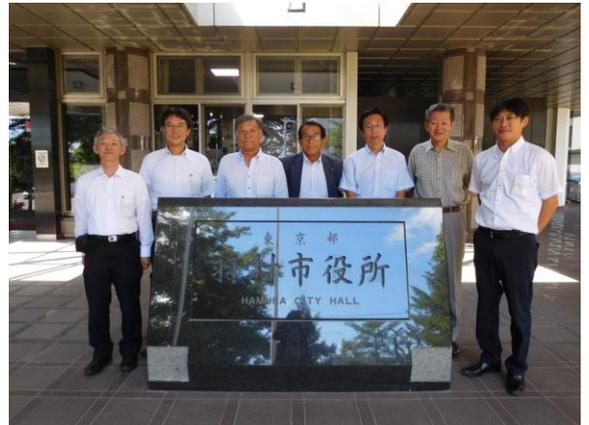
- ・広報紙も素晴らしい内容であった。一方、資料として頂いた「市議会だより」を見ると、『広報まえばし』との違いが歴然としていて、残念に思いました。こちらは年4回発刊ながら、ボリュームは僅か12ページであり、市議会の内容を30万市民に向け十分に伝えられているのか疑問に思った。

平成29年8月9日（水）

視察先：東京都羽村市

【調査事項】 「市議会だよりと広報全般について」

**【調査内容】 はむら市議会だより「ぎかいのトビラ」
広報誌のリニューアルと編集・作成について調査した。**



【◆調査内容に対する評価】

- ・平成25年にリニューアルした際、市民に聞き取り調査をしたところ、固い・難しい・読まない・気づかない等を意見を聞き、あきる野市、嬉野市を参考に「わかりやすい」「読みやすい」「親しみやすい」を方針として中学生でも分かるような編集を目指し検討を重ね、フリーペーパーの雰囲気、且つしっかり情報が正確にわかりやすく伝えるかを意識して作成している。
- ・レイアウトや構成などは事務局がエディター10を使い編集をし、業者にデータとして渡しているため、広報委員会が何回も集まる必要が無く、編集にかかる効率化を行っている。
- ・市民が登場する企画（市民インタビュー）を設けている。➡3つの常任委員会で順番に取材
- ・羽村市では、議会改革の一環として、議会だよりのリニューアルに取り組んだ。
- ・議会だよりも、有料の編集ソフトを使用し、短時間で編集が可能となっている。

【◆本市に反映できると思われる点】

- ・『ぎかいのトビラ』に掲載されている「しぎかいカレンダー」は一目で定例議会開催中の議員の活動が理解しやすい内容のように思える。活字が多い本市の議会だよりであるが、こんな改善ならたやすくできるのではないか。真似させてもらっても構わないのではないだろうか。
- ・『ぎかいのトビラ』紙面の余白部分の使い方が効果的で、見やすいと感じた。
- ・市のホームページを閲覧できないような高齢者の為に、安価なケーブルテレビが活用出来れば、検討の余地はあると思われる。
- ・羽村市議会では参加者の固定化に伴い、市政報告会を中止し、市民インタビューに取り組んでいる。課題はあるものの、藤枝市議会でも同様に各団体との懇談会などの方向性を検討していく必要がある。

【◆感想・意見】

- ・市民アンケートについては非常に反応が良く、「読みやすく興味を持った」が81%、ぎかいのトビラをいつも（たまに）読む人が84.6%、市民インタビューは興味深いのが58%と高く、議会と市民との距離が近くなっていることの成果だと思う。